



この事業は共同募金の助成事業です。

平成28年度傾聴ボランティアフォローアップ 研修開催要項

1. 目的

本県では、少子高齢化、核家族化の進行及び単身世帯が増加しています。また、住民同士の間関係の希薄化により地域からの孤立が問題となっています。このような課題を解決するためには、小地域での住民同士の支え合い活動が重要となり、生きるエネルギーを高める傾聴ボランティアのニーズが高まっています。傾聴ボランティアとは、「話し相手がない」「ひとりぼっちで寂しい」「悩みを抱えている」「不安で誰かに話を聞いてもらいたい」…そのような方の気持ちに、相手の身になってありのままに受け止めて”聴く”お話し相手ボランティアです。本研修は、『傾聴ボランティア』の活動者に対し、技術の向上を図ることを目的に実施します。

2. 主催

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会

3. 対象

本会主催の「傾聴ボランティア養成研修」を受講された方。
現在、傾聴ボランティア活動をしている方。
※定員60名（定員になり次第締め切らせていただきます）
※原則2日間連続で参加できる方を優先させていただきます。

4. 日程・会場

平成28年11月8日（火）、9日（水） [2日間連続]

鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム1（倉吉市駄経寺町212-5倉吉パークスクエア内）

5. 内容

日程	研修No.	形式	時間帯	内容
第1日目 (11月8日)	①	講義	9:30～ 12:00	○傾聴の基本（復習） ・傾聴の際の大事な言葉（復習） ・傾聴ボランティアとは（再確認）
			12:00～13:00	休憩（昼食は各自でご用意ください）
	②	ワーク ショップ	13:00～ 14:30	○実際の活動上の疑問・困り事Q&A ・提出済みの質問について答える ・その他、自由に質疑応答
	③	ロールプレイ 実習	14:30～ 16:30	○傾聴のスキルを使っての対話訓練① ※ロールプレイ実習 ・個人宅でよくあるケースについて

				事例①姑の介護、たまらなくイヤと訴える女性 ・施設でよくあるケースについて(グループ傾聴)
第 2 日 目 (1 1 月 9 日)	④	ロールプレイ 実習	9:30～ 11:30	○傾聴のスキルを使っの対話訓練② ※認知症高齢者の傾聴について ・同じ話を繰り返すケース 事例②ここは全部、私の土地だと言う高齢者
	11:30～12:30		休憩(昼食は各自でご用意ください)	
	⑤	ロールプレイ 実習 & 講義	12:30～ 15:30	○傾聴のスキルを使っの対話訓練③ ・抑うつ的な高齢者の傾聴 事例③この先、死しかないと言う高齢者 ・難聴の高齢者への関わり方について(講義)
	⑥	ロールプレイ 実習	15:30～ 16:30	○傾聴のスキルを使っの対話訓練④ ・総合練習(デモンストレーション) ・ピア・サポートの実践方法

講師：特定非営利活動法人ホールファミリーケア協会 事務局長 山田豊吉氏

平成11年、高齢者とその家族のための心のケアを行う福祉団体「NPO 法人ホールファミリーケア協会」を設立。日本で初めて、アメリカより「シニア・ピア・カウンセリング」を導入。その理念を大切にしながら、養成講座を開催すると同時に、高齢社会における新たな相互扶助活動である「(高齢者のための)傾聴ボランティア」活動の全国普及を目指して運動を展開中。

同時に、人との関わり方の基本である「傾聴的に関わる・聴く」活動の普及を目指し、運動を展開中。



6. 参加費(当日受付にてお支払いください。)

①-⑥フォローアップ研修：2,000円(①-③、④-⑥のみの参加は各1,000円)

7. 申込方法

別紙「申込書」に必要事項を記入の上、平成28年10月21日(金)までにFAXまたはメールにて下記申込先にお申し込みください。開催要項、申込書は本会ホームページからダウンロードできます。

8. 個人情報の取り扱いについて

本書に記載された個人情報は、受付に使用する名簿の作成、不具合・不測の事態があった際等の連絡に使用し、その他の目的で使用することはありません。事前質問は事務局で取りまとめ、当日の資料とさせていただきますのでご了承ください。

【問合せ・申込先】

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 鳥取県立福祉人材研修センター内
鳥取県社会福祉協議会 福祉人材部(担当 安東、桑村)
TEL:(0857)59-6336 FAX:(0857)59-6341
URL <http://www.tottori-wel.or.jp> E-mail vc@tottori-wel.or.jp